

製品名: サルコメア α アクチニンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02572

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 104 kDa; Observed MW: 104 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTN2
別名	Actin binding protein; Actinin alpha 2; ACTN2; Alpha actinin 2; CMD1AA
遺伝子 ID	88
SwissProt ID	P35609
免疫原	ヒトサルコメア α アクチニンの合成ペプチド

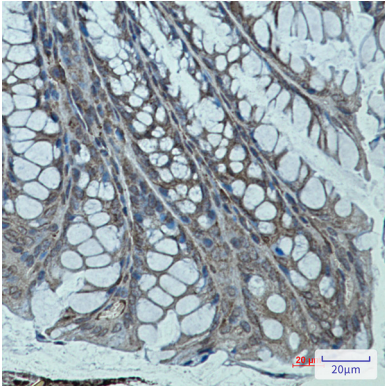
背景

F-アクチン架橋タンパク質は、アクチンを様々な細胞内構造に固定すると考えられています。これは束ねるタンパク質です。

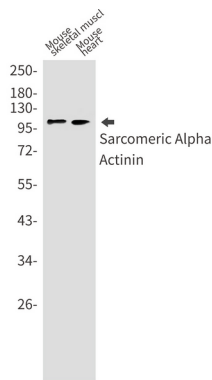
研究分野

シグナル伝達

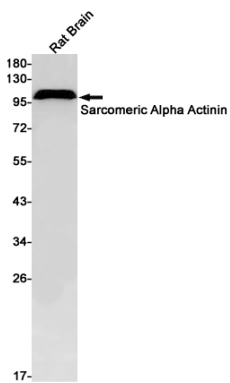
画像データ



サルコメア α アクチニン抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



サルコメア アルファ アクチニン抗体を使用したマウス骨格筋、マウス心臓溶解物中のサルコメア アルファ アクチニンのウェスタン ブロット分析。



サルコメア α アクチニン抗体を用いたラット脳溶解液中のサルコメア α アクチニンのウェスタンブロット分析